

# 令和2年度第1回天童市総合教育会議議事録

総務部総務課

1 日時 令和2年12月22日(火) 午後1時30分から午後3時まで

2 場所 本庁舎「3階会議室」

3 出席者

(1) 出席構成員

天童市長	山本信治	教育長	相澤一彦
教育委員	村山晴香	教育委員	松村昌子
教育委員	大内あゆ子	教育委員	工藤昭広

(2) 説明のため出席した者の職氏名

教育次長	武田文敏	学校給食センター所長	大沼敦
学校教育課長	佐藤亨	生涯学習課長	矢萩茂
教育総務課課長補佐兼庶務係長	横倉文男		

(3) 事務局職員の職氏名

総務部長	佐藤雅	総務課長	熊澤輝
総務課課長補佐兼行政係長	佐藤貴宏		
総務課主事	佐藤穂乃佳		

4 議事録署名員 教育長 相澤一彦

5 次第

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 協議・調整事項

ア 天童市教育大綱に基づく施策の年度上半期の総括について

イ 教育委員会として今後重点的に講ずべき施策について

・ G I G Aスクール構想における今後の本市 I C T教育について

ウ その他

(4) 閉会

## 6 会議の内容

発言者	発言内容
佐藤課長補佐 (司会)	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>(1) 山本市長</p> <p>(2) 相澤教育長</p>
山本市長	<p>3 協議・調整事項</p> <p>それでは議長を務めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>まず、天童市総合教育会議運営要綱第4条第2項の規定により、議事録署名員を指名させていただきます。</p> <p>相澤教育長にお願いしたいと思います。</p>
相澤教育長	<p>はい。</p> <p>(1) 天童市教育大綱に基づく施策の年度上半期の総括について</p>
山本市長	<p>最初に、「天童市教育大綱に基づく施策の年度上半期の総括について」説明を求めます。</p>
武田教育次長ほか	<p>(資料に基づき説明)</p>
山本市長	<p>ただ今説明がありましたが、皆様から御意見、御質問がありましたらお願いします。</p>
村山委員	<p>図書館の本の消毒や、ALTと子どもたちとのメッセージのやり取りなど、子どもたちのために様々していただき、感謝している。説明にあった、小学校英語4技能検定とはどのようなものか教えていただきたい。</p>
学校教育課長	<p>令和元年度は、天童南部、天童中部、天童北部、長岡小学校の6年生に実施しており、今年度は全小学校で実施した。</p>

	<p>この検定により、教員は求められている授業の水準を客観的に見ることができ、子どもたちにとってはやる気や目標になる。検定の結果に基づき、中学校区の小学校の先生方が授業改善についての話し合いを行っている。授業の質を高めようという交流が生まれている。</p>
工藤委員	<p>英検の受験率42.1%という数字をどのように捉えているか。</p>
学校教育課長	<p>中学2、3年生を対象としており、2年生も含めるためこれくらいの率になる。以前は3割程度だったことを考えると、高くなってきている。</p>
松村委員	<p>コロナ禍に対する子どもたちの受け取り方はどうか。また、学校で話し合う機会はあるのか。</p>
学校教育課長	<p>いつもと様子が違う子も見受けられたと聞いている。学校では「正しく怖がる」ということを丁寧に指導しており、コロナ禍をどう受け止めるかを子どもたち同士が話し合う機会も設けている。子どもたちは落ち着いて立ち向かっている。</p>
大内委員	<p>調べたことを自分たちで編集して、インターネットで配信する長岡小の子どもたちの姿を見た。1人に1台タブレット端末を配付していただけるのは、素晴らしいことと思う。</p>
山本市長	<p>他にございますか。</p> <p>(特になし)</p> <p>(2) 教育委員会として今後重点的に講ずべき施策について</p>
山本市長	<p>次に、「教育委員会として今後重点的に講ずべき施策について」の「GIGAスクール構想における今後の本市ICT教育について」説明を求めます。</p>
学校教育課長	<p>(資料に基づき説明)</p>

山本市長	ただ今説明がありました。皆様から御意見、御質問がありましたらお願いします。
村山委員	美術、音楽、体育など、ICTでは学べないものもある。実体験とテクノロジーを組み合わせ、教科の垣根を越えて勉強ができたらいいと思う。
学校教育課長	すでに実技教科にもICTを取り入れている部分はある。これから一層工夫をして、全ての教科で使えるところには貪欲に取り入れていきたい。
山本市長	ICTの活用で、現場で困っていることはないか。ついていけない子がいるかもしれない。相当のコストがかかっていることであり、効果の指標が必要と考える。
学校教育課長	学校によって教員の習熟度に差がある。教員が学ぶ姿勢が重要と考えている。子どもたちは使えば使うほど習熟するので、課題があるのは大人のほうである。
工藤委員	寺津小の子どもたちを見ていると、タブレットを特別な道具としてではなく、日常の一部として使っているのを感じた。他の学校にも広げていただければありがたい。
松村委員	説明いただいた中の、「ICTの活用を通して子どもたちが身につけた力」は、目指しているものと捉えてよいか。
学校教育課長	ICTの活用によって子どもたちが実際に身に付けたと寺津小の教員が感じたことである。
松村委員	寺津小の生徒の御家族はどのように協力しているのか。
学校教育課長	各家庭とも協力的だとは聞いている。子どもたちが学習に嬉々として向かい、学習したことを家庭で話す、という広まりがあると聞いている。御家庭でもその価値を分かっていたい。
大内委員	視力等への影響にも配慮をお願いしたい。

村山委員	電波も強いと聞く。子どもたちへの影響は。
学校教育課長	健康面にも十分気を付けたい。ICT推進委員会の先生方とも話し合い、具体的な取組を作っていきたい。
相澤教育長	御意見ありがとうございます。市長からもあった、成果と課題を把握することが大事。天童市は、ICTの活用を平成28年から5年間やってきたという強みがある。ICTの活用だけが理由ではないが、実際に寺津小の学力テストの成績は上がっている。今後は、成果と課題を数値的にも明らかにしていく必要がある。
山本市長	ICT導入のきっかけは、日新製薬さんの寄附。寺津小は少人数ということでモデルとして選ばれたが、細部まで目が届くという大きな特徴があり、良いスタートを切れた。今後、ICTは急速に広まっていくと考えられる。指導者の課題をクリアして、子どもたちに良い環境を提供していただきたい。
山本市長	<p>他にございますか。</p> <p>(特になし)</p> <p>(3) その他</p>
山本市長	<p>次に、「その他」ございませんでしょうか。</p> <p>(特になし)</p> <p>4 閉会</p>